

政策シート

2026年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		消防総務課
	03	05	01	04	01	

政策
消防職団員の適正な確保・育成や消防施設の充実強化

政策の内容

消防職団員の適正な確保・育成のため、消防職員の採用及び消防団への入団を促進するとともに、必要な技術・知識の習得により市民の多様なニーズに応えられる消防職団員の育成を推進します。 市民に迅速・公平な消防サービスの提供を図るため、必要な消防施設の充実強化を図ります。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
防災性	あなたの暮らしている地域で、災害(地震や津波、豪雨、火災など)に対して危険を感じますか。	2.42	2.49				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

・消防職員の採用募集は、広報はままつ、ホームページ、Instagramを活用しての広報に加え、高校や大学への訪問を行っており、現在は目標採用倍率を確保している。消防団員の確保については、教育機関への訪問、SNSの活用、メディアを通じた学生広報隊訓練のPRなど、多様な手段を用いて消防団の加入促進広報を行っており、学生広報隊の活躍や消防団員数の増加など効果が見え始めている。しかし、依然として条例定数に満たない状況である。今後、人口減少社会の進行により消防職員団員の確保が更に難しくなると推測されるため、広く消防の仕事を知らせる取り組みに加えて、職業体験の実施やデジタル教材の活用など、多様な採用広報を実施する必要がある。 ・大規模地震や激甚化・頻発化する近年の風水害等に対応できる職員を育成するため、通常の訓練に加えて、あらゆる災害に対応できるよう、高度な技術を習得するための訓練・研修へ派遣することや消防活動のデジタル化の推進が必要である。さらに、引き続き市民への迅速・公平な消防サービスを提供するため、地域の実情を考慮した消防施設の充実・強化が必要である。
--

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	1,488,304	961,287			
決算					

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員(再任用フルタイム含む。)	24.0	27.0			
会計年度任用職員(月額報酬の定めのある者)	7.0	6.0			
再任用職員(31時間勤務)	0.0	1.0			
再任用職員(26時間勤務)	0.0	0.0			

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
消防企画・人材 育成事業	消防職員の人材育成の一環として、研修及び派遣を行い、市民の生命、身体、財産を災害から防除するための知識及び技術の向上を図る。	30,667
消防職員被服整 備事業	災害活動上の安全の確保及び機動性を向上できる被服の充実を図る。	71,550
消防音楽隊等広 報事業	消防音楽隊等による消防に関する広報活動を行うことにより、多くの市民に消防行政に対する理解と信頼を得て、安全・安心な地域社会を実現する。	7,585
消防庁舎運営維 持管理事業	災害発生時の防災拠点として、また市民が利用しやすい庁舎とするため、消防庁舎を適切に運営維持管理し、その機能維持を図る。	107,248
消防庁舎整備事 業	消防庁舎の老朽化等に対応するため、建物及び付属設備の改修・更新を計画的に行うことで、災害時拠点施設としての機能を維持し、災害に対する即応体制を確保する。	197,360
中消防署高台出 張所建設事業	老朽化する中消防署高台出張所を移転建設する。	44,888
南消防署・浜松 第41分団等複 合施設建設事業	南消防署・浜松第41分団・可美市民サービスセンター複合施設を建設する。	891
北消防署引佐出 張所・引佐第3分 団伊平建設事業	土砂災害計画区域内にある北消防署引佐出張所及び引佐第3分団伊平の移転建設する。	157,100
消防総務運営経 費	国、県及び全国消防長会等で主催する会議、研修会への出席を通じ、最新の消防情勢や消防諸課題への取り組みなど、幅広い分野で有益な情報を本市へ還元し、消防行政の円滑な推進を図る。	11,538
消防団員出動等 活動事業	消防団員及び職員の知識・実務向上のため研修等へ派遣する。	1,643

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
消防団運営管理 等交付事業(交 付金)	消防団の円滑な運営を図るため、消防団の運営に要する経費を交付し、地域における消防団に対する要求に柔軟に対応する。	67,474
消防団員被服整 備事業	消防団員の安全な活動環境の保全のため、活動上必要な被服及び付属品等を貸与し、消防団員が安心して職務に専念できるようにする。	71,550
出初式開催事業	新年の消防演習として、消防装備、訓練等を市民に披露することで、消防活動及び防火防災についての理解を得るとともに消防職員及び消防団員の士気高揚を図るため、消防出初式を挙げる。	2,026
消防団施設維持 管理事業	消防団施設を適正に維持管理し、災害発生時の即時対応体制を維持する。	4,142
消防団庁舎整備 事業	消防団施設の老朽化や耐震性能不足を解消するため、計画的に点検や修繕、施設の統廃合を行い、地域防災拠点としての整備及び施設環境の改善を図る。	13,996
消防団資機材整 備事業	地域における消防防災力の充実と強化のため、各種災害に対応できる消防団活動上必要な資機材等を整備し、消防団の災害対応力の向上を図る。	13,730
消防団員退職報 償金支給事業	退職する消防団員に対し、階級及び勤務年数に応じた退職報償金を支給する。	49,965
消防団員等賞 じゅつ金等支給 事業	消防団員の処遇の保全のため、災害現場において死亡した消防団員と遺族に対する賞じゅつ金及び休業補償支給者のうち7日以上休業した者に休業見舞金を支払い、消防団員が職務に専念できるよう補償を充実させる。	701
消防団員等公務 災害補償等共済 事業(負担金)	消防団員の処遇の保全のため、消防団員の公務災害等に係る共済基金等へ加入し、消防団員が職務に専念できるよう補償を充実させる。	70,389
消防団運営経費	継続的な消防団運営体制の確保のため、女性や若者に対する加入促進事業を推進し、消防団員を確保する。	11,022

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

事業名	事業内容	2026年度 予算 (千円)
		2026年度 決算 (千円)
消防団車両維持 管理事業	災害発生時の即時対応に支障の無いよう、消防団車両を適切に維持管理し、緊急自動車としての機能維持を図る。	24,028
消防団車両購入 事業	消防団車両の老朽化等に対応するため、更新計画により消防団車両の更新を適切に行うことで、災害に対する即応体制を確保する。	0
消防団無線事業	消防団の災害活動用無線機等の維持管理に要する経費 ・消防団無線の維持管理を行う。 ・消防団車両の更新に伴う無線乗せ替え等を行う。	1,794

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
浜松市消防局人材育成基本方針に基づく研修後の職員アンケート回答数(人)	研修後に実施するアンケートの回答数	あらゆる災害に対応するために必要となる最新の知識やスキル等の研修を行うことで、安全かつ的確に行動する職員を育成するため。	目標値	-	254	254	254	254	254
			実績値	190	221				
			達成率	-	87%				
消防職員のエンゲージメント(5段階評価)	職員のエンゲージメント調査項目(誇り、やりがい等)において、5段階評価の平均	職員のエンゲージメントを把握することで、誰もが「誇り」や「やりがい」のある職場環境を整備することにつなげるため。	目標値	-	5	5	5	5	5
			実績値	4.15	4.14				
			達成率	-	83%				
消防庁舎建設の進捗(%)	現在進行している建設事業における当該年度末時点での工事進捗率	災害発生時の防災拠点施設として、消防庁舎建設の進行状況を客観的に把握し、計画通りに事業が進んでいるかを評価する。	目標値	-	53	73	87	100	100
			実績値	33	53				
			達成率	-	100%				
消防団員加入促進広報実施人数(人)	年度間に直接市民に対して、消防団員加入促進広報を実施した人数	地域防災の要である消防団員を確保するために、消防団活動の認知拡大と「やりがい」や「魅力」を広く伝えるため。	目標値	-	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
			実績値	4,018	2026年5月確定				
			達成率	-					
消防団拠点施設劣化調査実施数(回)	年度間に劣化状況調査を実施した施設数 ※消防団拠点施設劣化調査は、浜松市消防団施設等総合管理計画に基づき2025年度から実施する。	30年以上経過した消防団施設の長寿命化を図るため。 (対象:43施設 R34まで)	目標値	-	5	5	5	5	5
			実績値	-	5				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
研修目的の達成度(職員の研修理解度・業務活用度)(%)	浜松市消防職員人材確保・育成基本方針に基づく研修後のアンケート結果における「業務に活用できる」と回答した割合	研修目的の達成度を把握し、研修内容をブラッシュアップするとともに研修結果を効果的に消防業務全般に反映させる必要があるため。	目標値	－	100	100	100	100	100
			実績値	98.9	99.5				
			達成率	－	99.5%				
消防職員採用の倍率(倍)	年度内に行われた消防職員採用試験の平均倍率 ※全体の申込者数を採用予定者数で除した倍率	消防の使命を自覚し、市民の安全・安心を守るため、誠実かつ積極的に業務遂行できる人材を確保するには、一定数以上の受験者数を確保する必要があるため。	目標値	－	10	10	10	10	10
			実績値	9.4	8.6				
			達成率	－	86%				
消防庁舎の立地や利便性等に対するアンケートの満足度(5段階評価の平均値) (5段階評価) ※消防庁舎の立地や利便性満足度調査は2025年度から実施する。		地域の防災拠点となる消防庁舎の立地や利便性向上を、市民の視点から直接評価するため。	目標値	5	5	5	5	5	5
			実績値	－	2026年5月確定				
			達成率	－					
条例定数に対する消防団員数(充足率)(%)	4月1日現在における条例定数に対する消防団員数の割合(充足率)	地域防災の要である消防団員を確保し充足率を上げる具体的な目標指標とするため。 (本年度実績値2.3%/年基準)	目標値	－	78.1	80.5	82.9	85.4	88
			実績値	75.8	78.2				
			達成率	－	100%				
消防団拠点施設の保全率(%)	劣化状況調査結果及び修繕実施により、消防団拠点施設が適正に保全されている割合 ※消防団拠点施設の保全は、浜松市消防団施設等総合管理計画に基づき2025年度から実施する。	地域防災の要である消防団の拠点施設を適正に維持管理することは地域防災をを守ることにつながるため。	目標値	－	100	100	100	100	100
			実績値	－	100				
			達成率	－	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
火災による死者数(放火自殺者を除く)(人)	○	1年間の市内における火災による死者数(放火自殺者を除く) ※死者数8人(2023年度)を0人にする。	実績値	5	2026年5月確定					0
			達成率	38%						
救急現場における市民による応急手当実施率(%)	○	1年間に市内において、一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者のうち、一般市民が心肺蘇生を実施した割合	実績値	50.6	2026年5月確定					60
			達成率	84.3%						

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。



⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

充実強化した消防・救急体制による迅速的確な対応が、平時でも緊急時でも、市民の安全・安心を守っている。

【2026年度の評価】

2026年度の政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
	評価時に記載	

「②活動(アウトプット)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	
	評価時に記載

「③短期成果(アウトカム)指標」の分析・評価と指標見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	
----------	--

評価時に記載

2025年度の政策の評価と2027年度の方方向性(2026年度記載)

評価時に記載